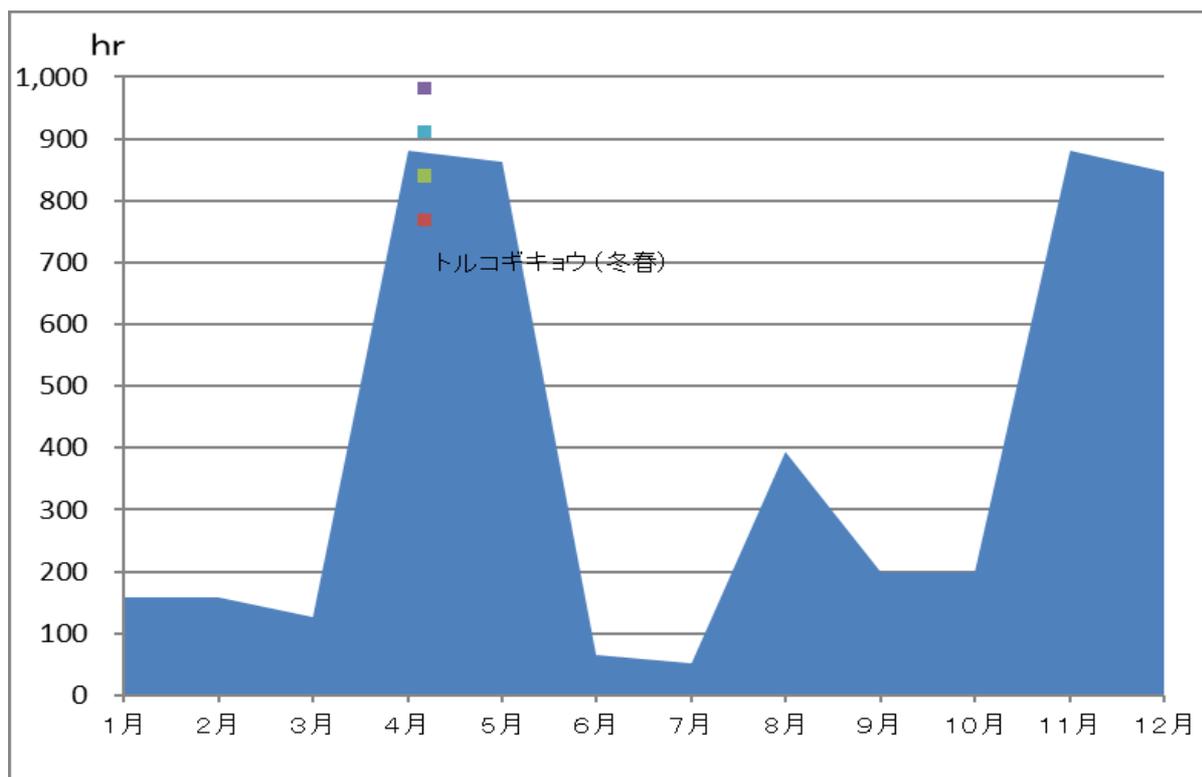


新規就農者モデルの生産概況と栽培・経営のポイント（R5～）

経営面積：30a、労働力：夫婦2名、雇用なし

生産地・面積	佐伯市・蒲江地域で1.5ha(R3)												
トルコギキョウ（2度切り）													
品目	トルコギキョウ	単位	備考										
販売量	153,600	本/30a	二度切り30a 品種は出荷率の高い中早生品種選定（渚、プロポーズ、クリスハート等） 51,200本/10a										
単価	118	円/本	過去3ヶ年部会平均単価										
販売額	18,124,800	円/30a											
経費	13,957,515	円/30a											
原材料費	2,791,234	円/30a	種苗、肥料、農薬など										
施設・機械費	2,945,076	円/30a	減価償却費を除く										
減価償却費	2,037,929	円/30a											
出荷販売経費	3,987,456	円/30a	農協・市場手数料、運賃ほか										
専従者給与	960,000	円/30a											
支払地代	100,000	円/30a	農地面積：50a、地代：20,000円/10a										
その他	1,135,820	円/30a	左記は就農5年目を想定した数値です										
所得額	4,167,285	円/30a											
所得率	23	%											
家計費	2,400,000	円											
税(家計)	450,000	円											
償還財源	3,355,214	円	所得額＋減価償却費－家計費－租税公課(家計)										
償還金	2,179,308	円	就農当初に借りたお金の返済(年間)、運転資金300万円含む										
差引余剰	1,175,906	円	次年度への繰り越し金										
<small>(注)販売量は目標となる目安の数値です。 (注)償還金は、借入額に応じて変動します。家計費、税(家計)は、家族構成等により変動します。</small>													
トルコギキョウ（2度切り）													
作型(作業体系)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	備考
	×株整理			収穫				◎定植				収穫	
栽培のポイント	土づくり	フザリウム菌やピシウム菌による土壌病害対策として、定植一ヶ月前までには土壌消毒を行い、有機質の投入、土壌診断結果に基づく適正施肥管理を行う。											
	定植	定植本数(全量購入苗) 32000本/10a 定植前に遮光・換気を行い地温を下げる。											
	栽培管理	生育初期(定植後一ヶ月)は水を切らさないように注意する。発蕾以降は徐々に灌水を抑える。 基本的には日中25℃、夜間15℃を目安に管理する。 圃場内で整枝・摘蕾作業を行い、早期に3枝・3花・3蕾に調整し秀品率向上に努める。											
	病虫害ほか	灰色カビ病、菌核病、アザミウマ類等。予防的な対策が重要。											
経営のポイント	単価	120円(税込み)/本前後。近年上昇傾向。											
	販売	販売は、農協の県域共販体制が整備されている。											
	施設(投資)	下記参照											
	労働	夫婦2人の作業が中心。定植・株整理作業に雇用を活用すると効率的。											



施設・機械一覧

名称	規模・能力	費用(円)	補助率	自己負担額(円)
トルコギキョウハウス	30a	65,715,000	2/3	21,905,000
予冷庫	1台、1坪	1,000,000	2/3	333,000
管理機	1台	660,000	2/3	220,000
倉庫	1棟、16坪	2,878,000	3/4	719,000
トラクター	1台	2,317,000	3/4	579,000
動力噴霧機	1台	350,000	1/2	175,000
軽トラック	1台	1,400,000		1,400,000
合計		74,320,000		25,331,000

※中古機械を活用することで自己負担額を下げることもできる